

～地魚を使ったウイナーや菓子の製造販売の実践～ 有限会社別所蒲鉾店（島根県出雲市）

目詰まりの現状

練製品製造業者は、多角的な販売に取り組んでいるが、通常製品のみでは販売の限界にあり、新商品の開発が急務となっている。
一方地元ではトビウオやアジ等が大量に漁獲された場合、買い手がつかず漁に出られないような事態が発生しており、資源を有効活用できる加工流通体制の構築が求められている。

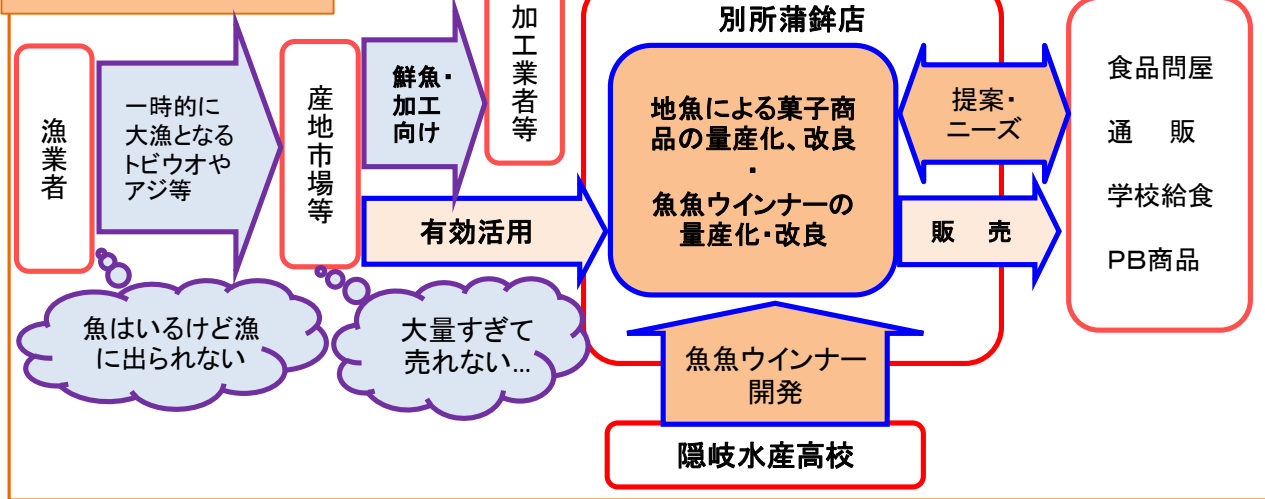
プロジェクトの概要

- ・地元水産高校(隠岐水産高校)が開発した地魚のウイナーと自社開発の地魚を使った菓子について、消費ニーズに即した合成添加物無添加商品の製造、販売を実践する。

取組による成果

- ・ウイナーは、島根県の学校給食展示品評会でトップ評価。その後、改良を加え「おさかなソーセージ」として商品化。他県学校給食でも高評価。
- ・「お魚チップス」は、栄養士等のアドバイスにより商品化し、取扱増。
- ・PB商品等、販売チャンネルが多様化し資源を有効活用。

プロジェクトフロー



オートスタッパー



魚魚ウイナー



アジ入り 魚っ子ウイナー



包装機



お魚チップス



(平成26年12月現在)